

重点取組分野	平成28年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	「資質・能力を育成する授業デザイン」をテーマに掲げ、子どもの実態をとらえ、身に付けるべき資質・能力を育成する授業の在り方を研究し、授業力向上、学力向上を目指します。また、朝のスキルタイム、読書タイムの拡充、各学年の発達段階に応じた家庭学習の継続により、学習の習慣化と基礎的・基本的な学習事項の定着を図ります。	年間8回の校内授業研究会と2回の公開授業研究会を通し、育成すべき資質・能力を整理し、授業の在り方を検証してきたことにより、授業改善が図られ、子どもの活用する意識も向上しました。スキルタイム、読書タイムの継続により、学習の習慣化と基礎的・基本的な学習事項の定着を目指しました。	B
豊かな心	平和スピーチ発表会、人権トークを柱に、人を思いやることなど、人権について自分事として考えていける態度を育みます。また、道徳の授業を年1回以上授業参観にて公開することで、職員の間意識を向上させるとともに、保護者や地域の方にも学校での取り組みをご理解いただき、連携して教育活動に取り組みしていきます。	平和スピーチ発表会、人権トークではそれぞれの学年で内容、テーマを設定することで、より子どもたちの成長段階に合わせた話し合い、取組むことができました。授業参観で道徳の授業を公開することにより、教科化される道徳での子どもたちに考えさせる内容や授業構成について一層理解を深めるきっかけとなりました。	B
健やかな体	・毎週金曜日の朝の時間を体力づくりタイムとして設定します。クラスごとに長縄に挑戦したり、持久走をしたりする取り組みを通して体力をつけていきます。 ・学校保健委員会では、「生活リズムを整える」をテーマにして取り組みます。そして、委員会で話し合ったことを各クラスに広め、その定着を目指していきます。	持久力の向上を目標に長縄と持久走を行い、長縄では学級で目標回数を設定したり休み時間にも練習したりと積極的に取組めました。マラソンカードにより取組の進み具合が自覚できました。学校保健委員会では「元気カード」を用いて振り返りをし、遅寝遅起きや運動不足などの健康課題を改善するためクラスごとに取組めました。	B
児童指導	岸谷スタンダードの細部までを職員が理解し、方向性を揃えて指導していきます。そして内容を丁寧に子ども達に指導します。職員で子どもの実態を共有する時間を増やし、課題が多いところや問題が起こりそうなところについて、学校全体で改善することができるようにします。横浜プログラムを有効活用できるよう、職員の研修を行います。	児童指導部を中心に、児童の様子を月に1度確認し、情報共有していききました。指導の改善が必要な場合には、組織でその改善策を図り、実施をしました。また、課題の大きい部分については、複数で対応するようになりました。スタンダードの内容が定着するように見直しを行い、共通理解を図り指導の統一ができるようになりました。	C
特別支援教育	特別支援教育委員会を設置し、特別支援教育相談センター、通級指導教室、療育センター等他機関や学校カウンセラーと連携し、個々の特性や状況を的確にとらえ、効果的で適切な指導、支援を行える体制を整えています。また岸谷スタディールーム(個別学習、少人数グループ学習)を今年度より実施し、学習理解、学習習慣の定着を図ります。	特別支援教育委員会を中心とし、校内で情報を共有していく中で、関係機関とも連携が図られ、個に応じた支援、指導を組織的、継続的に行うことができました。岸谷スタディールームでは、児童の実態に応じた個別指導、グループ指導を継続したことで、学習習慣や基礎的・基本的な学習事項の定着が図られています。	B
学校運営協議会	5月に第1回学校運営協議会を開催し、委員へ設置意図及びその役割を説明し、活動の方向性を確認します。また、人材を含めた地域資源をより効果的・効率的に学校運営に反映させていくための協議を行います。保護者からの授業評価や学校評価アンケートについて検討し、学校関係者評価の在り方も再検討していきます。	学校運営協議会では委員の方に設置意図や役割をご理解していただき、学校行事や土曜参観などでより良い学校運営に向けたご意見を伺うことができました。保護者アンケートでは、行事や授業での子どもたちの態度や教師の指導力について振り返ったり改善点を考えたりすることができました。	B
人材育成・組織運営	5年次以下の教員でステップアップチーム、その他の教員でキャリアアップチームを組織し、授業や研修を通して学習指導・児童指導に関するスキルアップを図ります。また、ステップアップチームは悩みを相談できるミーティングの場を設け、キャリアアップチームは月1回の不祥事防止研修を担当する等、キャリアステージに応じた取り組みを行います。	ステップアップチームでは、日々の児童指導や学習指導などについての悩みを共有し、話し合うことで、次の指導に生かすことができました。キャリアアップチームは不祥事防止研修や実技研修などを担当することで、危機管理に関するスキルをさらに高めるとともに、他の職員にそれを伝え、全体のスキルアップにつなげられました。	B
ブロック内相互評価後の気付き	本年度、中学校土曜授業参観を活用し、中一を対象とした小学校教員による授業を行った。中学校教員にとって、同じ対象者へのアプローチの仕方・言葉かけ等参考になることが多かった。児童生徒理解及び小中の教師間の相互理解の視点では大きな成果を得ることができた。課題として、中学校の土曜授業への参加のため、小学校教員の勤務(振替等)、事前の単元計画・授業計画等の共有の必要性が挙げられた。中三の卒業期前に実施している、母校小学校への学習支援は、9年間で育てる子ども像の一端として、高い評価ができる。		
学校関係者評価	・学力状況調査の結果が平均点を超せばよいということではなく、経年の変化が向上することを目指していくのでよい。子どもが小さなつまづきをしたときに丁寧にフォローしていくことが大事である。 ・子どもはその成長過程においていじめの場面に会うことは多い。自他を大切に思う気持ちを育てていく取組を継続していくほしい。 ・具体的取組を設定するにあたって、何がどの程度までできたときに成果としてとらえるのか、具体的な指標が必要である。そうすることで評価がしやすくなる。		

重点取組分野	平成29年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	子どもの実態をとらえ、資質・能力を育成する授業、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践します。授業では、話す、聞く、振り返るなどの学習スキルの定着や各教科における見方・考え方の深化、統合を図ります。朝のスキル・読書タイム、各学年の発達段階に応じた家庭学習の継続により、学習の習慣化と基礎的・基本的な学習事項の定着を図ります。	年間8回の校内授業研究会と1回の公開授業研究会を通し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に取り組みしました。横浜市学力・学習状況調査の経年変化では、全校の学力や学習意識の向上が見られました。さらに学力向上アクションプランも改善、修正し、基礎的・基本的な学習事項の定着が図られています。	B
豊かな心	年間指導計画を見直し、道徳教育の要として道徳の時間のより一層の充実を図ります。平和スピーチ発表会、人権週間の取組などを通して、自他を大切にしている心や態度を育みます。道徳授業を年に1回以上授業参観にて公開することで、職員の意識を向上させるとともに、保護者や地域の方にも学校での取り組みをご理解いただき、連携して教育活動に取り組みしていきます。	特別の教科として位置づけられた道徳の指導について評価の在り方などの研修をし、道徳教育の充実を図りました。また、全校で平和スピーチ発表会を行ったり、人権週間の取組について児童代表委員会で検討したりするなど、児童が主体的に取り組めるようにしました。こうした取組により、自他を尊重する意識が育まれてきています。	B
健やかな体	毎週金曜日に体力づくりタイムを設けます。長縄跳びや短縄跳び、持久走を通して瞬発力や持久力の向上を目標として取り組んでいきます。運動委員会と連携することで子ども同士でモチベーションを高めていけるようにしていきます。昨年度に引き続き、「元気カード」を使って生活リズムの振り返りをします。運動に取り組む機会を増やすことにより、体力や筋力の向上を目指します。	体力づくりタイムで縄跳びを取り入れることで休み時間にも縄跳びをして遊ぶ児童が増えました。持久走では過去の自分の記録や互いの記録を意識しながら運動に取り組むことができました。休み時間などにクラス全員で外遊びをしたり運動を取り入れた集会を実施したりするなど、全校で丈夫な体づくりのための運動に取り組めました。	B
児童指導	岸谷スタンダードを教職員が正確に理解し、児童にそれが浸透し安心して生活できるよう、きめ細かく指導を行っていきます。また、児童の様子について必要な情報を教職員が共有できる時間を定期的に設け、課題やその解決方法について組織的に検討し、改善ができるようにします。横浜プログラムを活用するための教育研修を行い、児童理解をしっかりと行うことができます。	児童の様子について全職員で毎月1回情報共有し、チームとして組織的な対応を行ってまいりました。岸谷スタンダードについては指導の徹底を図るとともに適宜見直しを行い、実態に即した内容に改善を図りました。横浜プログラムについては職員研修を行いました。より有効な活用ができるよう今後も年間計画に位置付けていきます。	B
特別支援教育	特別支援教育委員会では、個々の特性や状況を的確に捉え、効果的で丁寧な支援が行える体制を整えます。また、岸谷スタディールーム(グループ学習・算数少人数学習)を継続して実施し、学習理解、学習習慣の定着を図ります。個別支援学級の児童が「朝の会」を交流級で過ごすなど、一般学級との交流の機会を増やし、インクルーシブ教育を進めていきます。	岸谷スタディールームにおいてグループ学習と算数少人数学習を継続したことにより個々の状況に応じた基礎的・基本的な学習事項の定着が図られました。また、個別支援学級と一般学級との交流の機会が増えたことで、障害の有無に関わらず互いに理解を深め社会で生きていくための力を育むインクルーシブ教育が進められました。	B
学校運営協議会	授業参観や運動会・岸谷ふれあいコンサートなどの行事等、年間を通して保護者から授業評価や学校評価アンケートをとって改善に努めます。また学校運営協議会委員の方にも年間行事や授業参観をしていただいた後には給食ミーティングを行い効果的・効率的に学校運営に反映させていくための協議を行います。	学校行事や授業の参観をしていただいた後に給食ミーティングを行い、委員の皆様からのご意見を学校運営に反映させていくことができました。保護者アンケートでは、子どもたちが学習に取り組む様子や、教師が魅力ある授業を行っているかどうかという視点からのご意見をいただき、授業改善につなげることができました。	B
いじめへの対応	道徳教育を中心に、児童が自己の内面をしっかりと見つめ、より多角的・多面的に物事をとらえる力を育む学習を計画的に行います。カウンセリングスキルに関する職員研修を行い、児童の悩みに寄り添えるスキルの向上に努めます。	日々の道徳教育や、人権週間に行った「人権トーク」の取組により、自分を大切にしている気持ち、友達を大切にしている気持ちを育て、生活の中での実践につなげていきました。気になる出来事があったときには、「児童支援ノート」に記録し、担任と各学年教諭、児童支援専任教諭が連携をはかり、早期にチーム支援を進めることができました。	B
人材育成・組織運営	5年次以下の教員でステップUPチーム、その他の教員でキャリアUPチームを組織し、授業や研修を通して学習指導・児童指導に関するスキルUPを図ります。学んだことを日々の実践へとつなげ、機能していくよう校内OJTを促進させます。また、危機管理について組織的に対応していきます。業務の前後踏襲を避け、分析と見直しを行い、改善・効率化に努めます。	ステップアップチームでは、日々の児童指導や学習指導などについての悩みをもとに、キャリアアップチームが研修を行うことで、指導の仕方を共有しながら、全体のスキルを高めることができました。また、キャリアアップチームによる不祥事防止研修を通して、危機管理についての組織的な意識改革が図れました。	B
ブロック内相互評価後の気付き	昨年度より中学校土曜授業参観時に中一を対象として小学校教員による授業を行っている。中学校教員にとって生徒への言葉かけ・板書の工夫等参考になった。児童生徒理解及び小中教師間相互理解で大きな成果を得た。今年度の授業研は、人権教育実践推進校のテーマと併せ、ユニバーサルデザインを取り入れた授業を行い協議を重ねた。9年間で育てる子ども像の一端として、小学校運動会の支援、防災訓練や地域行事への参加希望生徒の増加が見られる。また中3卒業前の母校小学校への学習支援は、高い評価をできる。土曜授業への協力のため、小学校教員の勤務振替、事前の細かい調整は課題である。		
学校関係者評価	市学力調査で活用する力が高いのは評価できる。学習が遅れがちな子どもにも笑顔で温かく指導にあたってほしい。学校経営について保護者アンケートを取り、次年度に向け改善を図ることは大変よいことだが、一部の短期的な意見に惑わされることなく、長期的に見越して活用して欲しい。子どもたちの豊かな心を育むためには、地域の伝統行事を大切にしたり、地域の行事で金管バンドが発表したり一人ひとりのよさを引き出していくことも大切だと思われる。今後も学校の特色を出しながら、地域や家庭と連携して個に応じた温かい支援を多くの大人がしていくことが大切である。		

重点取組分野	平成30年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	c5		
豊かな心	c6		
健やかな体	c7		
児童指導	c8		
特別支援教育	c9		
学校運営協議会	c10		
いじめへの対応	c11		
人材育成・組織運営	c12		
ブロック内相互評価後の気付き			
学校関係者評価			

学校経営中期取組目標振り返り	「健やかな体」では、体力づくりタイムを毎週行うことで、児童の体力を向上させようという意識が育まれてきています。「学校保健委員会」については、全児童が自分事として取り組める課題を設定し、活発に取り組んでいきます。「児童指導」では、岸谷スタンダードを実施していますが、全体化されていないので、次年度は教師の共通理解を図った上で、学校全体に浸透させていきます。「学校運営協議会」を設置し、委員の方から行事や授業を参観していただき、より良い学校運営に向けたご意見を伺うことができました。また保護者アンケートからのご意見を検討し、次年度につなげていきます。
----------------	---

学校経営中期取組目標振り返り	「健やかな体」では、市の体力テストの結果を受けて、瞬発力や持久力の向上を図って、体力づくりタイムを計画してきたが、次年度は子どもたちが体力向上の意識をもてるような活動を行いたい。保護者アンケートから読み取れるのは、行事に対する保護者の関心が高まっているので、保護者の参観マナーの向上に向けた取組については検討したい。「特別支援教育」については、東部療育センターのコンサルテーションを活用し、子どもの個に応じた指導や支援を行うことができたので今後もよりよい支援を目指したい。
----------------	--

学校経営中期取組目標振り返り	
----------------	--